



東京日野プロバスクラブ
創立 平成22年9月16日

プロバスだより

第141号

『みんな仲良く、元気よく』

令和4年度 会長・宮地公平 幹事・保母錠治
第123回 2022(令和4年)9月15日

理事会

日時： 令和4年9月8日(木) 10:00~12:00
場所： 日野宿交流館 3F 大会議室
出席： 9名

第123回 例会

日時： 令和4年9月15日(木) 12:30~14:30
場所： 星の家(豊田北口)
【出席報告】総数35名 出席22名 出席率62.8%

会長挨拶

会長 宮地公平

本日は小田原潔前外務副大臣の講演で、この8月まで、外務副大臣として勤務された体験を、直接伺うことのできる貴重な機会を得たことを喜んでおります。

9月8日、秋山大僧正の33回忌に参加しました。法要は大日堂で行われ、京都から多数の僧侶が参加され、不動尊関係者、近傍寺院関係者等100名を越す盛大なものでした。

昨年退会された田村豊章会員ですが、体調も回復され、10月入会の予定と伺っております。また今月24日は、光バンドのチャリティーコンサートが行われます。是非御参加いただきますようお願いいたします。

幹事報告

幹事 保母錠治

9月例会は、小田原議員をお迎えし講話を頂きました。多くの会員の方からご好評を頂きました。個人的には、サブカルチャーが親睦に有効だったこと、手製のボードの活用が絶妙で敬服致しました。

また、光の家主催の「愛のサウンドフェスティバル」に参加致しました。当クラブの会員も数名参加されており楽しんでおられました。特に今年はウクライナ出身の女性歌手、カテリーナさんの出演があり盛り上がりました。ウクライナの厳しい状況は、依然続くものと思われ支援の輪が広がることを願います。

【議題】

- 9/8(木)理事会、「日野宿交流館」にて開催。
9/15(木)例会、「高幡不動尊客殿」にて開催。
- 「東京八王子2022」アンケートについて、9/25(日)提出。
- クラブ内各種印刷物を外部印刷事業者へ委託する件を検討。主旨について概ね賛同を得た。準備について幹事が担当する。
- 東京日野プロバスクラブの名刺作成について。

理事については作成済。要望のある方は、林委員長にお申し出ください(実費負担)

【報告事項】

- 9/8(木)、高幡不動尊、秋山大僧正の33回忌法要が実施、宮地会長が参列。
- 東京八王子プロバスクラブより、「東京八王子2022」の開催案内が届く。10/25までに参加者集約。10月理事会で案内予定。
- たかはたもみじ灯路実行委員会より委員の推薦依頼が届く。
久保地域奉仕委員会副委員長、澤田地域奉仕委員の2名を推薦。
- 10月に予定されていた令和4年度「よさこい祭り」は延期となりました。

委員会報告

○例会委員会

委員長 小島康義

- ・特別例会(3月花見会、5月1年を振り返って、8月納涼例会など)の回数を増し、講話・フリートーク等、活発な意見交換が可能な時間を設けます。
- ・講話は、研修委員会と調整を取りながら進めます。
- ・ランチマットは、吉ノ元会員の制作提供です。

○情報委員会

委員長 林 良健

- ・「プロバスだより」原稿は、発信者が自らの原稿を箇条書きで月末までに、原稿を提出する。

○会員委員会

委員長 後藤紀之

- ・今回、7月に入会された市川さん・大林さんの会員手帳用の添付シールが、村田さんのご尽力により出来上がりましたので配布致します。
- ・久しぶりの納涼例会は、感染対策に気を付けながら楽しく開催されました。

○研修委員会

委員長 足田久武

- ・9月：小田原潔前外務副大臣講話は、好評裏に終了
- ・10月：高幡不動尊貫主杉田純一様、講話決定。
- ・11月：大坪冬彦市長講話。
- ・12月：仲村房次郎卓話、会員相互のフリートーク。

○地域奉仕委員会

委員長 土方尚功

- ・第20回ひのよさこい祭、開催延期
- ・ひの新選組まつり、たかはたもみじ灯路、参画。
- ・社協、東京光の家、夢ふうせんへの支援活動。
- ・ボトルキャップ、使用済み切手回収。
- ・放課後こども教室支援等。

『岸田・林 外交の一年』



衆議院議員
前外務副大臣 小田原 潔

昨年10月の総選挙では、小選挙区にて4期目の当選を果たしました。また日野市では4万票を超える投票を頂きましたこと、誠に有難うございました。併せて岸田内閣では外務副大臣も拝命致しました。

私が政治家を志したのは、8歳の時、昭和47年5月15日の沖縄返還を迎えた日からです。私の父は当クラブの宮地会長と同じく陸上自衛官でした。自衛官の家族はいざという時には父が命を失う事があるという事を覚悟しながら過ごします。名誉ある殉職であればよいのですが、思い付きの命令で大死はしてほしくないという切実な子供心がありました。そのような思いの中、一発の銃弾も発射せず一滴の血液も流さず成し遂げられた沖縄返還を果たした政治の力に感動し、政治家を志しました。12年前、参院選に落選後浪人中に自民党東京都連から東京21区の候補者はまだ未定だが、やる気はあるかと打診を受けました。当時、東京21区には民主党の強い先生がいらしたのでこれは火中の栗を拾うことになり、苦戦を強いられると思いましたが、出馬を決意し、比例東京ブロックで当選を果たし、その後の選挙では小選挙区で当選させていただきました。

副大臣の任命式についてお話をいたします。外務副大臣の任命式を宮中で行いましたが、本番2時間前に総理大臣官邸に23名の副大臣が全員集まってビデオ等で天皇陛下から任命証をいただく所作を学びます。陛下は総理と23名の副大臣が皇居宮殿に集まっていることを確認してから署名され、それが乾くのを待って御璽を押し、またそれが乾いてから任命式が執り行われます。大臣政務官は陛下から任命されるポストではないため、5年前に外務大臣政務官を拝命した時は陛下ではなく、当時の岸田外務大臣から任命証を頂きました。岸田外務大臣は歴代で一番任務歴が長かった外務大臣でありましたので、海外の要人との信頼も厚く首相任命時には国際関係でも大きなプラスとなりました。

外務副大臣在任中の担当は北米・中南米でした。アメリカ合衆国のプリンケン國務長官からも日本の外交は評価されています。ロシアへの経済制裁、ウクライナ難民救済対応が韓国やオーストラリア等の追従を呼び、ロシアによるウクライナ侵攻がヨーロッパだけの問題ではなく国際秩序に対しての挑戦であり、全人類が対応をしなければならない事案であるというメッセージが全世界に周知されました。同時に中国抜きでインド太平洋経済枠組み（IPEF）のリーダーシップをとったことにより今までの日米同盟が新しい次元に至ったことから評価をされています。

副大臣を務めた10か月心得ていた事をお話いたします。私は外国要人にお目に掛かる前に相手の出身地や名産、趣味などを下調べします。お会いして握手をしたら、本題に入る前に先にそのような話をします。例えば、外務省での飯倉公館での会食は9割以上の外国要人が和食を希望されます、私自身興味を持つまではいつも同じようなメニューだと思っておりましたが、その日仕入れた一番いいものをお刺身、お椀にすることがわかってから和食を楽しめるようになりました。旬の食材には走り、盛り、名残りがありますが、走りや名残りを入れたお椀や盛りだけで勝負するお椀等によって料理人が表す季節感が和食の醍醐味です。一緒に食べた食材を通して人生の一瞬を共に過ごしているという和食のメッセージを伝えます。外交の話よりも外国要人の心に残ります。

コロナ禍でなかなか海外出張が出来ない状況でしたが、チリの大統領就任式に出席した折に、大統領が「ポケモン」が好きだとの情報を得てポケモンキャラクターの縫いぐるみを首脳会談の際に差し上げたら大喜びされ、現地のテレビや新聞でも一面で報じてくれ、人気者になりました。サブカルチャーの威力を思い知り、日本には利用できる文化資源が多いと改めて感じた次第です。

その後、パリにある国際エネルギー機構で食料とエネルギー問題についての会議がありました。会議に来られたウクライナの副大臣は、ロシアからガスや穀物を買うことで同胞が殺される武器が提供されると訴えられ、経済制裁を強化してほしいと懇願されました。贖罪意識を抱えて帰国しました。

翌月の国連総会では、北朝鮮によるミサイル発射の避難決議が中国、ロシアの拒否権使用により否決された国連安保理に対して苦言を呈しました。この様子がNHKでも放映されました。翌日には国連安保理の非常任理事国の選挙があり、我が国は世界最多となる12度目の非常任理事国に選出されました。70年以上徹底的に平和を守り、世界第3位の経済大国である我が国に対する期待は大きいと思います。現在の国連は常任理事国が当事者となる大きな問題の解決は機能不全となっています。存在意義を問う声さえありますが、様々な選択肢を検討してみても国連改革を推し進めることしか問題解決の方策はないと思います。

米国の外交関係者らと話す時、最大の関心事は台湾です。権威主義的国家と自由主義的国家との折り合いをどうつけるか、良心と常識を守る社会を維持できるのか？これが私たちの生活と外交課題を結びつけるテーマでありましょう。

現在は政府を離れて自民党の国防部長官代理に就いております。諸先輩方の議論を取りまとめる仕事です。もともと国防と外交に人生を捧げたいと思い、この仕事を志してきました。国防に抜かりがあつてはいけません、それを使わずに済む外交を優先するのが私の考えです。このことを胸に刻みながら皆様のご期待に応えられるよう働いてまいります。

東京日野プロバスクラブが後援の社会福祉法人東京光の家主催のチャリティーコンサートが開催されました。

演奏に先立ち、前会長で光の家愛のサウンド後援会会長の澤田研二氏の挨拶がありました。

愛のサウンドフェスティバル ～平和と希望～

9月24日(土)15:00 ひの煉瓦ホール



ウクライナ民族楽器バンドウーラ奏者カテリーナさんの演奏で幕を開けました。

ウクライナ生まれ。生後30日の時にチェルノブイリで被災し、19歳の時に音楽活動拠点を東京に移す。現在日本に2人しかいないバンドウーラ奏者の一人として、国内外のさまざまなコンサートで講演活動を展開中です。



バンドウーラ奏者 カテリーナ

同好会報告

【ゴルフ同好会】

◇日野3クラブ合同コンペ

9月29日(木) GMG 八王子ゴルフ場

当日は、曇り空ではありますが、絶好のゴルフ日和の天候でした。参加者24名6組(日野 PC からは6名参加)で結果は、黒澤直明さんの2回目の優勝とベスグロ賞・NP賞、保母錠治さんがドラタン賞を獲得されました。

◇多摩3PC ゴルフコンペ

10月14日(金) GMG 八王子ゴルフ場

3年ぶりに雨模様の中開催。優勝は日野 PC 黒澤直明さんがベスグロ賞と共に獲得されました。参加賞は栃木県の「にっこり」(日光の梨をモジったもの)...

◇忘年コンペ&忘年会

12月7日(水) 都ゴルフ倶楽部 7:22 スタート

・忘年会 寿司正 ¥5,000 18:00～

【麻雀同好会】

今しばらく、お待ちください…



誕生日を迎えて

お誕生日、おめでとうございます。
いつまでも、お元気で……



本部皓充 (S13.9.27)

S13 生まれで、終戦の年は、小学校1年生。84歳になり、残された人生は残り何年あるのか、いつも考えています。今後は、若い人達のためになることを求め、長寿を願っています。

澤田研二 (S19.9.03)

9月3日で78歳に。プロバスの平均年齢より少し上に…というところでしょうか。いろんな団体に関わっていますが、ほとんどは年寄の部類で扱われていますが、プロバスの中には80歳以上で元気な先輩が何人も活躍されていますので、自分も頑張らねばとの気持ちになります。

市川篤仁 (S30.9.9)

我が家には、働き者のかみさんと子犬(生後1歳8か月の女の子)が同居しております。先日2人の為にキャンピングカーを購入しました。10月からはプロバス例会、ゴルフ、飲み会の合間を縫って月1～2回の小旅行に出かけます。引退して楽になると思いきや、前より忙しくなりそうですが新たな生き甲斐が見つかるかも……

ニコニコワンコイン

◆ 5名の方に参加して頂きました。ご協力ありがとうございました。 集計¥2,500

★宮地公平

小田原潔前外務大臣の講演を祝して

★保母錠治

小田原先生ありがとうございます。貴重な講話をありがとうございます。大変な時期ですが、今後ともご活躍下さい。いよいよ今後とも1/4を経過しましたが、今は例会も順調に実施出来そうです。

★小林昭治

6月28日腹腔鏡により胃がんの摘出手術を受けました。幸いステージ1ですみましたので、今は元気に過ごしています。体重も10kgほどへりましたが、肥満が解消されました。

★小島 馨

小田原先生の卓話楽しみに！
8月は誕生日祝い有難うございました。
小田原先生今日は、楽しみにしております。

★林 良健

小田原前外務大臣講話、感謝しています！



・ホームページ
<https://www.hinopc.com/>

◆『プロバスだより』に掲載したい
情報がありましたら、提供願います。

(林良健、村田博、篠原昭雄
大田健、小林昭治、吉ノ元身良)

